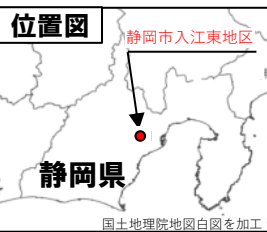


「ゾーン30プラス」の整備による効果検証結果(静岡県静岡市入江東地区)

- 鶴舞町地区では令和4年12月に「ゾーン30プラス」の整備計画を策定し、令和5年3月までに短期対策（交通規制・物理的デバイスの設置等）を完了。
- 効果検証を行った結果、走行速度の減少、対策箇所周辺の交通事故件数が減少。
- 地域住民へのアンケート結果では約75%の住民が「安全性が確保された」と回答。



- 推進体制**
- 静岡市入江地区生活道路安全対策協議会
- ・ 静岡県警察
 - ・ 静岡県道事務所
 - ・ 静岡市役所
 - ・ 清水区入江地区連合自治会
 - ・ 近隣幼稚園、こども園 等

取組経緯

静岡市入江地区生活道路安全対策協議会を開催するなど、地域住民等からの意見を踏まえた交通安全対策を実施

H31.1: 鶴舞町地区におけるハンプの効果検証結果の報告とエリア拡大に関する意見交換

R1.5: 実態調査を踏まえた地域課題の共有、対策方針の意見交換

R1.12~R2.3: 実証実験（ハンプとイメージ狭さく）

R2.7: 追加対策の方針決定

R4.12: 「ゾーン30プラス」整備計画の策定

R5.3: 短期対策の整備完了

R6.3: 効果検証の実施

対策の実施状況



ハンプ



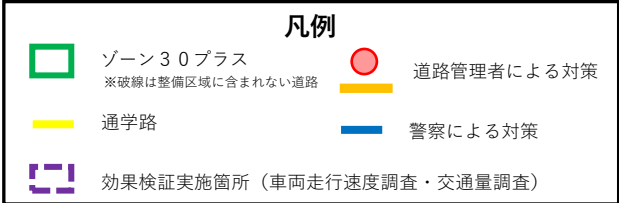
狭さく



狭さく



カラー舗装、路面表示

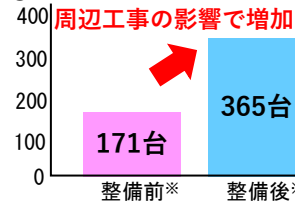


効果検証結果

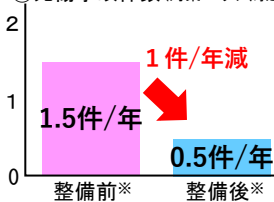
①車両走行速度調査（A地点南行）

	平均速度	30km/h超過割合
整備前	34.4 km/h	41.0%
整備後	25.4 km/h	0.6%

②交通量調査（B地点東行）



③死傷事故件数（対策エリア周辺）



④アンケート調査

